

ノウソツチュウ

## 1. 脳卒中（脳血管疾患）の種類

脳卒中は脳血管の疾病の総称で、脳内出血、くも膜下出血、及び脳梗塞がある。

ノウコウソク

①脳内出血 脳血管が破れて出血をおこすもので、多くの場合深い昏睡とともに半身マヒを起こす。脳内出血は、寒冷ばく露などの自然環境のほか、労働条件やストレスなどの社会的、精神的要因がある。高血圧性脳内出血は、高血圧症および動脈硬化によるものが多い。近年高血圧症の早期治療の普及により減少傾向にある。他の危険因子として喫煙、糖尿病、動脈硬化症の出血性疾患がある。

②くも膜下出血 脳はくも膜という膜でおおわれており、くも膜と脳の表面との間にある小さな動脈ドウミキクリュウに動脈瘤があると、血圧が上がった時等に破れて、くも膜下出血になる。頭痛がひどく悪心、嘔吐があり意識が混濁し、通常は、四肢のマヒは起こらない。

### ③脳梗塞（のうこうそく）

1) アテローム血栓性脳梗塞ケツセン 動脈硬化による動脈壁に沈着したアテローム（粥状硬化：じゅくじょうこうか）のため内腔が狭小化し、十分な脳血流を保てなくなったり、またアテロームが動脈壁からはがれ落ちて末梢に詰まったものもアテローム血栓性に分類される。一般的には前駆症状があり、めまい、頭痛、舌のもつれ、手足のしびれなどが起きる場合が多い。

2) 塞栓性（脳塞栓症）ソクセンセイ 脳血管の病変ではなく、流れてきた血栓が詰まることで起こる脳梗塞である。多くは心臓で生成する血栓であり、不整脈に起因する心原性脳塞栓が多い。突然閉塞するため、壊死範囲はより大きく、症状はより激烈になる傾向がある。脳障害として半身マヒや昏睡状態に陥る場合が多い。

## 2. 脳卒中の予防対策

脳卒中の危険因子は、高血圧、喫煙、糖尿病、大量飲酒、肥満であることから、生活習慣である食事に配慮し、適度な運動をして、喫煙や大量飲酒を避けるようにしなければならない。また、定期的に健診を受け、健康状態を確認しておくことが重要となる。

### トライ!

- 1. 脳血管の疾病の総称として脳卒中と呼ばれ、脳内出血、脳梗塞及びくも膜下出血の3種類がある。
- 2. 脳梗塞には動脈硬化が原因で発生するアテローム血栓性脳梗塞と、血栓が原因で発生する塞栓性の2種類がある。
- 3. 脳卒中の危険因子は、老化に伴う脳血管障害であり、日常の生活習慣及び社会生活上のストレス等は原因とはならない。

答 1. ○ 2. ○ 3. ×